

積算基準	土木
現場中間検査	要
工場等派遣中間検査	要
樹木保険加入	不要

# 工 事 設 計 書

事業年度	令和 8年度		
設計年月	令和 年 月		
予算科目	款 項 目 節		
工事場所	京都市伏見区横大路六反畑他地内		
路線名又は河川名等			
工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)		
工期	契約日の翌日から令和10年 3月15日まで		
事業課(所)名	南部区画整理事務所	単価使用年月	令和 年 月
工事番号		歩掛適用年月	令和 年 月
変更回数		基準適用年月	令和 年 月
主工種		単価地区	
前払金支出		調整区分	

京都市 建設局

チェック欄

工事概要

工事延長				m	438
道路土工	式	1	側溝工	m	524.7
プレキャストカルバート工	m	59.9	U型水路工	m	103.8
地盤改良工	式	1	仮設工	式	1

施工理由

本工事は、伏見西部第五地区土地区画整理事業における道路築造、水路整備、街区内の造成工事を行うことにより、事業の促進及び周辺宅地の早期利用開始を図るものである。

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
内	工事価格	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
支	給品費	前回	円	円	円
		今回	円	円	円

京都市 建設局

## 積算参考資料（間接費補正一覧）

単 価 使 用 年 月	2026年3月	
歩 掛 適 用 年 月	2026年3月	
基 準 適 用 年 月	2026年3月	
単 価 地 区	2601: I 地区	
調 整 区 分	本附帯工事	
現場環境改善費（率計上）		
市 街 地 補 正	市街地	
共通仮設費（率計上）		
主 たる 工 種	04:道路改良工事	
施 工 地 域 等 補 正	市街地（DID補正）（1）－3	1.2
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	市街地（DID補正）（1）－3	1.1
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

見積参考資料（細別単価）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

※細別単価については細別全てを含む単価である。

工種	種別	細別	規格・条件	単位	単価(円)	備考
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【1号水路】(No. 4) (材料費)	3300×2200×1500(標準)	個	1,160,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【1号水路】(No. 3) (材料費)	3300×2200×1500(オスワ, 連結 金具付)	個	1,560,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【1号水路】(No. 2) (材料費)	3300×2400×1500(オススフラット, 連結金具付, 頂版開口φ900/2, 側壁開口750×1500等)	個	1,880,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【1号水路】(No. 1) (材料費)	3300×2400×1500(オススフラット, 連結金具付, 頂版開口φ900/2, 側壁開口750×1500等)	個	1,880,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(材料費) (No. 83, 85, 87, 89, 93, 95)	3300×2200×1500(標準)	個	1,320,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(材料費) (No. 82, 84, 86, 88, 90, 92, 94, 96)	3300×2200×1500(定着用)	個	1,320,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(No. 91) (材料費)	3300×2200×1500(側壁開口 B400×H550)	個	1,380,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(No. 97) (材料費)	3300×2200×1500(側壁開口φ 800/2)	個	1,410,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(No. 98) (材料費)	3300×2200×1500(オスワ, 定着 用, 側壁開口φ800/2, 連結金具 付)	個	1,810,000	【設計内訳書(水路工事)】

### 見積参考資料（細別単価）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

※細別単価については細別全てを含む単価である。

工種	種別	細別	規格・条件	単位	単価(円)	備考
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(No. 99) (材料費)	3300×2200×1146/1390(オスフレ, 側壁開口φ800/2,連結金具付)	個	2,040,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(No. 100) (材料費)	3300×2200×1146/1390(定着 用,側壁開口φ800/2,連結金具 付)	個	1,940,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(No. 101) (材料費)	3300×2200×910(調整用)	個	1,330,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(No. 102) (材料費)	3300×2200×1390/1174(定着 用,連結金具付)	個	1,950,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】	プレキャストボックス 【3号水路】(No. 103) (材料費)	3300×2200×1393/1177(メスフレ, 連結金具付)	個	1,950,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (標準) (材料費)	1500×1500×2000(標準)	個	384,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (準特) (材料費)	1500×1500×2000(準特)	個	384,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (B2) (材料費)	1500×1500×1000	個	307,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (B10, 11) (材料費)	1500×1500×1228	個	351,000	【設計内訳書(水路工事)】

見積参考資料（細別単価）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

※細別単価については細別全てを含む単価である。

工種	種別	細別	規格・条件	単位	単価(円)	備考
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (B1) (材料費)	1500×1500×1217/1185	個	422,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (B8) (材料費)	1500×1500×1840/1102	個	474,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (B9) (材料費)	1500×1500×1840/1102	個	474,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (B13) (材料費)	1500×1500×1102/1840	個	474,000	【設計内訳書(水路工事)】
カルバート工	プレキャストカルバート工 【2号水路】	プレキャストボックス (B14) (材料費)	1500×1500×800/1538	個	416,000	【設計内訳書(水路工事)】
地盤改良工	安定処理工【水路跡】	安定処理 (改良厚：1.6m)	混合深さ：1mを超え2m以下，固 化材100m2あたり使用 量：21t/100m2，固化材の種類： 環境負荷低減型固化材	m2	7,949	【設計内訳書(整地工事)】
地盤改良工	安定処理工【水路跡】	安定処理 (改良厚：1.2m)	混合深さ：1mを超え2m以下，固 化材100m2あたり使用 量：15.6t/100m2，固化材の種 類：環境負荷低減型固化材	m2	6,380	【設計内訳書(整地工事)】
地盤改良工	安定処理工 (自走式土質改良工)	土質改良 (32街区土砂改良ヤード) (1～3号水路床掘土等)	改良土質：粘性土，固化材1m3当 り使用量：131kg/m3，固化材の 種類：環境負荷低減型固化材	m3	5,353	【設計内訳書(整地工事)】

### 見積参考資料（細別単価）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

※細別単価については細別全てを含む単価である。

工種	種別	細別	規格・条件	単位	単価(円)	備考
構造物撤去工	運搬処理工	刈草処分		t	22,000	管理費区分T 【設計内訳書(道路工事)】 【設計内訳書(整地工事)】
構造物撤去工	運搬処理工	廃棄物処分	廃プラスチック類(VP管)	kg	66	管理費区分T 【設計内訳書(整地工事)】
構造物撤去工	運搬処理工	廃棄物処分	廃プラスチック類(土のう)	kg	25	管理費区分T 【設計内訳書(整地工事)】
共通仮設費	技術管理費	土質試験費		式	240,000	【設計内訳書(道路工事)】 管理費区分9, 諸経費を含む
共通仮設費	技術管理費	原位置試験		式	940,000	【設計内訳書(水路工事)】 管理費区分9, 諸経費を含む
共通仮設費	技術管理費	土質・原位置試験		式	3,260,000	【設計内訳書(整地工事)】 管理費区分9, 諸経費を含む

# 設計内訳書（道路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路改良		式	1				
道路土工 【区画道路12号線】		式	1				
路体盛土工 【区画道路12号線】		式	1				
路体(築堤)盛土	施工幅員:2.5m未満	m3	6				
土砂等運搬 (33街区仮置土から流用)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	6				運搬距離:0.3km 以下,DID区間無し
積込(ルース) (33街区流用土仮置場)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m3未満	m3	6				
路床盛土工 【区画道路12号線】		式	1				
路床盛土	施工幅員:2.5m未満	m3	30				
路床盛土	施工幅員:4.0m以上	m3	40				20,000m3以上
土砂等運搬 (33街区流用土仮置場から運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	80				運搬距離:0.3km 以下,DID区間無し
積込(ルース) (33街区流用土仮置場)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m3未満	m3	80				
法面整形工 【区画道路12号線】		式	1				
法面整形(盛土部)	法面締固め:有り,現場制約:無し	m2	10				

# 設計内訳書 (道路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路土工 【区画道路5号線】		式	1				
路体盛土工 【区画道路5号線】		式	1				
路体(築堤)盛土	施工幅員:2.5m未満	m3	60				
路体(築堤)盛土	施工幅員:4.0m以上	m3	590				20,000m3以上
土砂等運搬 (33街区流用土仮置場から運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	720				運搬距離:0.3km 以下,DID区間無し
積込(ルーズ) (33街区流用土仮置場)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m3未満	m3	720				
路床盛土工 【区画道路5号線】		式	1				
路床盛土	施工幅員:4.0m以上	m3	1,000				20,000m3以上
土砂等運搬 (33街区流用土仮置場から運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,150				運搬距離:0.3km 以下,DID区間無し
積込(ルーズ) (33街区流用土仮置場)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m3未満	m3	1,200				
法面整形工 【区画道路5号線】		式	1				
法面整形(盛土部)	法面締固め:有り,現場制約:無し	m2	130				
道路土工 【区画道路13号線】		式	1				

# 設計内訳書 (道路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
掘削工 (表土) 【区画道路13号線】		式	1				
掘削	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:無し,障害:無し,施工数量:5,000m3未満	m3	260				
土砂等運搬 (33街区表土仮置場へ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	260				運搬距離:0.3km以下,DID区間無し
整地 (33街区表土仮置場)	作業区分:残土受入れ地での処理	m3	260				
掘削工 (表土以外) 【区画道路13号線】		式	1				
掘削	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:無し,障害:無し,施工数量:5,000m3未満	m3	1,100				掘削土は路体(築堤)盛土に使用
路体盛土工 【区画道路13号線】		式	1				
路体(築堤)盛土	施工幅員:2.5m未満	m3	100				
路体(築堤)盛土	施工幅員:4.0m以上	m3	80				20,000m3以上
路床盛土工 【区画道路13号線】		式	1				
路床盛土	施工幅員:4.0m以上	m3	1,400				20,000m3以上
土砂等運搬 (33街区流用土仮置場から運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,540				運搬距離:0.3km以下,DID区間無し
積込(ルース) (33街区流用土仮置場)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m3未満	m3	1,500				

# 設計内訳書 (道路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
法面整形工 【区画道路13号線】		式	1				
法面整形(盛土部)	法面締固め:有り,現場制約:無し	m2	230				
排水構造物工 【区画道路12号線】		式	1				
側溝工 【区画道路12号線】		式	1				
自由勾配側溝	側溝規格:自由勾配側溝(縦断用)B400×H700×L2000	m	14				
側溝蓋	コンクリート蓋	枚	12				(概)
側溝蓋	グレーチング蓋	枚	2				(概)
排水構造物工 【区画道路5号線】		式	1				
側溝工 【区画道路5号線】		式	1				
自由勾配側溝	側溝規格:自由勾配側溝(縦断用)B400×H700×L2000	m	136				
自由勾配側溝	側溝規格:自由勾配側溝(縦断用)B400×H800×L2000	m	14				
側溝蓋	コンクリート蓋	枚	133				(概)
側溝蓋	グレーチング蓋	枚	17				(概)

# 設計内訳書（道路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
管渠工 【区画道路5号線】		式	1				
鉄筋コンクリート台付管 (重圧管 φ600)		m	2				(概)
集水桝・マンホール工 【区画道路5号線】		式	1				
現場打集水桝		箇所	1				(概)
排水構造物工 【区画道路13号線】		式	1				
作業土工 【区画道路13号線】		式	1				
床掘り (平均施工幅1m以上2未満) (参考数量)	土質:土砂	m3	410				(概) 土留無し, 障害無し
埋戻し (最大埋戻幅1m未満) (参考数量)	土質:土砂	m3	120				(概)
側溝工 【区画道路13号線】		式	1				
自由勾配側溝	側溝規格:自由勾配側溝(縦断用)B400×H700×L2000	m	221				
自由勾配側溝	側溝規格:自由勾配側溝(縦断用)B400×H800×L2000	m	58				
自由勾配側溝	側溝規格:自由勾配側溝(縦断用)B400×H900×L2000	m	50				
自由勾配側溝	側溝規格:自由勾配側溝(縦断用)B400×H1000×L2000	m	26				

# 設計内訳書 (道路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
自由勾配側溝	側溝規格:自由勾配側溝(横断暗渠)B400×H700×L1500	m	6				(概)
側溝蓋	コンクリート蓋	枚	312				(概)
側溝蓋	グレーチング蓋	枚	41				(概)
構造物撤去工		式	1				
構造物取壊し工		式	1				
舗装版破砕	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm	m2	78				障害無, 騒音振動対策不要, 積込有
道路除草工		式	1				
除草	作業形態:肩掛け式	m2	1,500				飛び石防護有り
集草		m2	1,500				
積込運搬 (L=3.7km)		m2	1,500				ダンプトラック6.5km以下
運搬処理工		式	1				
殻運搬 (L=3.2km)	殻種別:アスファルト殻	m3	4				
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	4				

# 設計内訳書 (道路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
刈草処分		t	4				
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	49				
舗装		式	1				
舗装工 【区画道路12号線】		式	1				
アスファルト舗装工 【区画道路12号線】		式	1				
表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	m2	1,200				
透水性舗装工 【区画道路12号線】		式	1				
フィルター層	材料種類:山砂(洗い), 真砂土, 75μm通過6%以下, 仕上り厚:50mm	m2	15				
下層路盤(歩道部)	路盤材種類:再生クワッシュラン RC-30, 仕上り厚:100mm	m2	15				
表層	材料種類:開粒度アスコン, 材料規格:13, 平均幅員:1.4m以上2.4m未満, 舗装厚:40mm	m2	15				
舗装工 【区画道路5号線】		式	1				

# 設計内訳書 (道路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
アスファルト舗装工 【区画道路5号線】		式	1				
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クワッシュラン RC-30, 仕上り厚:150mm	m2	1,040				
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生粒度調整砕石 RM-30, 仕上り厚:100mm	m2	1,040				
表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	m2	1,040				
透水性舗装工 【区画道路5号線】		式	1				
フィルター層	材料種類:山砂(洗い), 真砂土, 75 $\mu$ m通過6%以下), 仕上り厚:50mm	m2	14				
下層路盤(歩道部)	路盤材種類:再生クワッシュラン RC-30, 仕上り厚:100mm	m2	14				
表層	材料種類:開粒度アスコン, 材料規格:13, 平均幅員:1.4m以上2.4m未満, 舗装厚:40mm	m2	14				
舗装工 【区画道路13号線】		式	1				
アスファルト舗装工 【区画道路13号線】		式	1				
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クワッシュラン RC-30, 仕上り厚:150mm	m2	1,360				
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生粒度調整砕石 RM-30, 仕上り厚:100mm	m2	1,360				
縁石工 【区画道路12号線】		式	1				

# 設計内訳書（道路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
街渠工 【区画道路12号線】		式	1				
現場打街渠板	I型, 切下げ部(横断部)	m	7				(概)
縁石工 【区画道路12号線】		式	1				
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (横断部, セミﾌﾗｯﾄ)	ﾌﾞﾛｯｸ規格:A種, 京都市80型	m	7				(概)
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (一般部, フﾗｯﾄ) (反射鋳付き)	ﾌﾞﾛｯｸ規格:A種, 水抜きﾌﾞﾛｯｸ	m	20				(概)
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (段差部, フﾗｯﾄ) (反射鋳付き)	ﾌﾞﾛｯｸ規格:A種, JIS-PL-5A(段差用)	m	2				(概)
道路付属物工 【区画道路12号線】		式	1				
視線誘導標	φ60.5×t2.3, コンクリート建込用, コンクリートﾌﾞﾛｯｸ含む	本	3				(概)
縁石工 【区画道路5号線】		式	1				
街渠工 【区画道路5号線】		式	1				
現場打街渠板	I型, 切下げ部(横断部)	m	8				(概)
縁石工 【区画道路5号線】		式	1				
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (横断部, セミﾌﾗｯﾄ)	ﾌﾞﾛｯｸ規格:A種, 京都市80型	m	7				(概)

# 設計内訳書 (道路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
地先境界ブロック	ブロック規格:B種(150×120×600)	m	4				(概)
縁石工 【区画道路13号線】		式	1				
縁石工 【区画道路13号線】		式	1				
地先境界ブロック	ブロック規格:B種(150×120×600)	m	5				(概)
防護柵工 【区画道路5号線】		式	1				
作業土工 【区画道路5号線】		式	1				
床掘り (平均施工幅1m以上2m未満) (参考数量)	土質:土砂	m3	50				(概) 土留無し, 障害無し
埋戻し (最大埋戻幅1m未満) (参考数量)	土質:土砂	m3	30				(概)
路側防護柵工 【区画道路5号線】		式	1				
転落防止柵付きガードレール (景観色:ダークグレー)	Gr-C-2B/PY-F4同等品以上, H=1100	m	103				(概)
現場連続打ち基礎 (転落防止柵付きガードレール)	24-8-25(20)BB	m	104				(概)
門扉 (景観色:ダークグレー)		基	2				(概)
防止柵工 【区画道路5号線】		式	1				

# 設計内訳書（道路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)	事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装				
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
横断防止柵	柵高:0.8m, 作業区分:プレキャストコンクリートブロック建込	m	5				(概)
転落防止柵	柵高:1.1m, 作業区分:コンクリート建込	m	4				(概)
区画線工 【区画道路12号線】		式	1				
区画線工 【区画道路12号線】		式	1				
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動, 規格・仕様区分:実線 15cm, 塗布厚:厚1.5mm, 排水性舗装:無し	m	340				(概) 未供用区間補正有 , 含有量15~18%
区画線工 【区画道路5号線】		式	1				
区画線工 【区画道路5号線】		式	1				
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動, 規格・仕様区分:実線 15cm, 塗布厚:厚1.5mm, 排水性舗装:無し	m	250				(概) 未供用区間補正有 , 含有量15~18%
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の49.6%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				

# 設計内訳書（道路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
技術管理費		式	1				
土質試験費		式	1				内 1号 管理費区分9, 諸経 費を含む
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費 (率計上)		式	1				
共通仮設費 (率計上)		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				



# 設計内訳書（水路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路改良		式	1				
地盤改良工		式	1				
置換工 【1号水路・3号水路】		式	1				
置換 (掘削・土材料・路体(築堤)盛土)	置換材料:再生砕石(RC-40), 施工数量:24.2m3	m3	20				(概)
土砂等運搬 (掘削土砂(置換部)) (32街区土砂改良ヤトへ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	20				(概) 不整地運搬車, 運搬距離50m以下
整地 (32街区土砂改良ヤト)	作業区分:残土受入れ地での処理	m3	20				(概)
置換工 【2号水路】		式	1				
置換 (掘削・土材料・路体(築堤)盛土)	置換材料:再生砕石(RC-40), 施工数量:284.5m3	m3	280				(概)
土砂等運搬 (掘削土砂(置換部)) (32街区土砂改良ヤトへ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	280				(概) 不整地運搬車, 運搬距離50m以下
整地 (32街区土砂改良ヤト)	作業区分:残土受入れ地での処理	m3	280				(概)
カルバート工		式	1				
作業土工 【1号水路・3号水路】		式	1				
床掘り (標準) (参考数量)	土質:土砂	m3	130				(概) 土留無し, 障害無し

# 設計内訳書 (水路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
埋戻し (最大埋戻幅1m以上4m未満) (参考数量)	土質:土砂	m3	280				(概)
土砂等運搬 (床掘土砂) (32街区土砂改良ヤードへ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	130				(概) 不整地運搬車, 運搬距離50m以下
整地 (床掘土砂) (32街区土砂改良ヤード)	作業区分:残土受入れ地での処理	m3	130				(概)
土砂等運搬 (埋戻土砂) (33街区仮置流用土)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	320				(概) 運搬距離0.3km以下, DID区間無し
積込(ルース) (埋戻土砂)	土質:土砂, 作業内容:土量50,000m3未満	m3	320				(概)
作業土工 【2号水路】		式	1				
床掘り (標準) (参考数量)	土質:土砂	m3	710				(概) 土留無し, 障害無し
埋戻し (最大埋戻幅1m以上4m未満) (参考数量)	土質:土砂	m3	970				(概)
土砂等運搬 (床掘土砂) (32街区土砂改良ヤードへ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	710				(概) 不整地運搬車, 運搬距離50m以下
整地 (床掘土砂) (32街区土砂改良ヤード)	作業区分:残土受入れ地での処理	m3	710				(概)
土砂等運搬 (埋戻土砂) (33街区仮置流用土)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,080				(概) 運搬距離0.3km以下, DID区間無し
積込(ルース) (埋戻土砂)	土質:土砂, 作業内容:土量50,000m3未満	m3	1,100				(概)
プレキャストカルバート工 【1号水路・3号水路】		式	1				

# 設計内訳書（水路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
基礎砕石 RC-40, t=250mm	22.5cmを超え27.5cm以下, 再生グラツァツァン40~0, 全ての費用	m2	150				
プレキャストボックス 【1号水路】(No. 4)	3300×2200×1500(標準), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【1号水路】(No. 3)	3300×2200×1500(オスワ, 連結金具付), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【1号水路】(No. 2)	3300×2400×1500(オスワフラツ, 連結金具付, 頂版開口φ900/2, 側壁開口750×1500等), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め無し
プレキャストボックス 【1号水路】(No. 1)	3300×2400×1500(オスワフラツ, 連結金具付, 頂版開口φ900/2, 側壁開口750×1500等), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め無し
プレキャストボックス 【3号水路】 (No. 83, 85, 87, 89, 93, 95)	3300×2200×1500(標準), 基礎砕石を含まない	個	6				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【3号水路】 (No. 82, 84, 86, 88, 90, 92, 94, 96)	3300×2200×1500(定着用), 基礎砕石を含まない	個	8				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 91)	3300×2200×1500(側壁開口B400×H550), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 97)	3300×2200×1500(側壁開口φ800/2), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 98)	3300×2200×1500(オスワ, 定着用, 側壁開口φ800/2, 連結金具付), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 99)	3300×2200×1146/1390(オスワ, 側壁開口φ800/2, 連結金具付), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め無し
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 100)	3300×2200×1146/1390(定着用, 側壁開口φ800/2, 連結金具付), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 101)	3300×2200×910(調整用), 基礎砕石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り

# 設計内訳書 (水路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 102)	3300×2200×1390/1174(定着用, 連結金具付), 基礎碎石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 103)	3300×2200×1393/1177(マフラ, 連結金具付), 基礎碎石を含まない	個	1				材料費は別途計上, 縦締め無し
巻き立てコンクリート (2)		箇所	1				(概)
落差工		箇所	2				(概)
プレキャストボックス 【1号水路】(No. 4) (材料費)	3300×2200×1500(標準)	個	1				
プレキャストボックス 【1号水路】(No. 3) (材料費)	3300×2200×1500(オスフラ, 連結金具付)	個	1				
プレキャストボックス 【1号水路】(No. 2) (材料費)	3300×2400×1500(オスフラット, 連結金具付, 頂版開口φ900/2, 側壁開口750×1500等)	個	1				
プレキャストボックス 【1号水路】(No. 1) (材料費)	3300×2400×1500(オスフラット, 連結金具付, 頂版開口φ900/2, 側壁開口750×1500等)	個	1				
PC鋼より線 【1号水路】 (材料費)	φ15.2mm, SWPR7BL	m	17				(概) 1.101kg/m
定着金具 【1号水路】 (材料費)	アンカーウェッジ等	組	8				(概)
プレキャストボックス 【3号水路】(材料費) (No. 83, 85, 87, 89, 93, 95)	3300×2200×1500(標準)	個	6				
プレキャストボックス 【3号水路】(材料費) (No. 82, 84, 86, 88, 90, 92, 94, 96)	3300×2200×1500(定着用)	個	8				
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 91) (材料費)	3300×2200×1500(側壁開口B400×H550)	個	1				

# 設計内訳書（水路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 97) (材料費)	3300×2200×1500(側壁開口φ800/2)	個	1				
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 98) (材料費)	3300×2200×1500(マフ, 定着用, 側壁開口φ800/2, 連結金具付)	個	1				
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 99) (材料費)	3300×2200×1146/1390(マフ, 側壁開口φ800/2, 連結金具付)	個	1				
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 100) (材料費)	3300×2200×1146/1390(定着用, 側壁開口φ800/2, 連結金具付)	個	1				
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 101) (材料費)	3300×2200×910(調整用)	個	1				
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 102) (材料費)	3300×2200×1390/1174(定着用, 連結金具付)	個	1				
プレキャストボックス 【3号水路】(No. 103) (材料費)	3300×2200×1393/1177(マフ, 連結金具付)	個	1				
PC鋼より線 【3号水路】 (材料費)	φ15.2mm, SWPR7BL	m	151				(概) 1.101kg/m
定着金具 【3号水路】 (材料費)	アンカーウェッジ等	組	72				(概)
プレキャストカルバート工 【2号水路】		式	1				
プレキャストボックス (標準)	1500×1500×2000(標準), 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	5				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス (準特)	1500×1500×2000(準特), 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス (B2)	1500×1500×1000, 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り

# 設計内訳書 (水路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
プレキャストボックス (B10, 11)	1500×1500×1228, 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	2				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス (B1)	1500×1500×1217/1185(差筋付), 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス (B8)	1500×1500×1840/1102(連結金具付), 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス (B9)	1500×1500×1840/1102(連結金具付), 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス (B13)	1500×1500×1102/1840(連結金具付), 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	1				材料費は別途計上, 縦締め有り
プレキャストボックス (B14)	1500×1500×800/1538(スラ, 連結金具付, インサート付), 基礎碎石+均しコンクリート含む	個	1				材料費は別途計上, 縦締め無し
プレキャストボックス (標準) (材料費)	1500×1500×2000(標準)	個	5				
プレキャストボックス (準特) (材料費)	1500×1500×2000(準特)	個	1				
プレキャストボックス (B2) (材料費)	1500×1500×1000	個	1				
プレキャストボックス (B10, 11) (材料費)	1500×1500×1228	個	2				
プレキャストボックス (B1) (材料費)	1500×1500×1217/1185	個	1				
プレキャストボックス (B8) (材料費)	1500×1500×1840/1102	個	1				
プレキャストボックス (B9) (材料費)	1500×1500×1840/1102	個	1				

# 設計内訳書 (水路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
プレキャストボックス (B13) (材料費)	1500×1500×1102/1840	個	1				
プレキャストボックス (B14) (材料費)	1500×1500×800/1538	個	1				
PC鋼より線 (材料費)	φ 15. 2mm, SWPR7BL	m	91				(概) 1. 101kg/m
定着金具 (材料費)	アンカーウェッジ等	組	24				(概)
排水構造物工		式	1				
集水桝・マンホール工		式	1				
プレキャストマンホール (No. 1-2) 【1号水路】		箇所	1				(概)
U型水路工 【2号水路】		式	1				
現場打水路 (TYPE1)		m	80				
現場打水路 (TYPE2)		m	12				
現場打水路 (TYPE3)		m	12				
足掛け金物 (材料費)		本	18				(概)
翼壁 (1)		箇所	1				(概)

# 設計内訳書 (水路工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
翼壁 (2)		箇所	1				(概)
仮設工		式	1				
土留・仮締切工 (参考数量)		式	1				
土のう (設置(再利用))	大型土のう規格:1t土のう	袋	20				(概) 作業半径:6m以下, 接地面-3~2m
土のう (撤去(再利用))	大型土のう規格:1t土のう	袋	20				(概) 作業半径:6m以下, 接地面-3~2m
足場・支保工 (参考数量)		式	1				
足場工 (現場打U型水路) 【2号水路】	手摺先行型枠組足場,安全ネット必要,ラフレンスクレーン標準	掛m2	720				(概)
水替工 (参考数量)		式	1				
ポンプ設置・撤去		箇所	1				(概)
ポンプ排水		日	15				(概)
仮水路工 (参考数量)		式	1				
仮設暗渠排水管設置	暗渠排水管は流用品	m	4				(概)
仮設暗渠排水管撤去		m	4				(概)

# 設計内訳書（水路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)	事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良				
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	16				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の13.6%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
技術管理費		式	1				
原位置試験		式	1				内 2号 管理費区分9, 諸経 費を含む
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費 (率計上)		式	1				

# 設計内訳書（水路工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
基盤整備		式	1				
敷地造成工		式	1				
掘削工 【25街区】		式	1				
掘削 (表土)	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:有り,施工数量:普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土	m3	1,600				(概)
掘削 (表土以外)	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:有り,施工数量:普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土	m3	860				(概)
土砂等運搬 (表土) (33街区表土仮置場へ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,620				(概) 運搬距離0.3km以下, DID区間無し
整地 (33街区表土仮置場)	作業区分:残土受入れ地での処理	m3	1,600				(概)
掘削工 【26街区】		式	1				
掘削 (表土)	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:有り,施工数量:普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土	m3	1,700				(概)
土砂等運搬 (表土) (33街区表土仮置場へ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,720				(概) 運搬距離0.3km以下, DID区間無し
整地 (33街区表土仮置場)	作業区分:残土受入れ地での処理	m3	1,700				(概)
掘削工 【27街区】		式	1				
掘削 (表土以外)	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:有り,施工数量:普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土	m3	750				(概)

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
掘削工 【32街区】		式	1				
掘削 (表土)	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:有り,施工数量:普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土	m3	700				(概)
土砂等運搬 (表土) (33街区表土仮置場へ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	700				(概) 運搬距離0.3km以下, DID区間無し
整地 (33街区表土仮置場)	作業区分:残土受入れ地での処理	m3	700				(概)
掘削工 【22街区】		式	1				
掘削 (表土以外)	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:有り,施工数量:普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土	m3	260				(概)
盛土工 【25街区】		式	1				
整地 (表土)	作業区分:敷均し(ルース)	m3	830				(概) 障害:無し
積込(ルース) (33街区仮置表土)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m3未満	m3	830				(概)
土砂等運搬 (33街区仮置表土) (33街区→25街区)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	830				(概) 運搬距離0.3km以下, DID区間無し
畦畔築立	畦畔築立+畦畔法面仕上げ	m	245				(概) 土地改良事業歩掛, 畦畔復旧工
耕地復旧(耕起)		m2	2,750				(概) 土地改良事業歩掛, 耕地復旧(耕起)
路体(築堤)盛土 (宅地相当) (工事間流用土)	施工幅員:4.0m以上	m3	3,500				(概) 施工数量:20,000m3以上, 障害:無し

# 設計内訳書（整地工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
路体(築堤)盛土 (進入路) (工事間流用土)	施工幅員:4.0m以上	m3	20				(概) 施工数量:20,000m <sup>3</sup> 以上,障害:無し
路体(築堤)盛土 (再生砕石(RC-40)) (現場内流用)	施工幅員:4.0m以上	m3	40				(概) 施工数量:20,000m <sup>3</sup> 以上,障害:無し
盛土工 【26街区】		式	1				
整地 (表土)	作業区分:敷均し(ルース)	m3	1,100				(概) 障害:無し
積込(ルース) (33街区仮置表土)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m <sup>3</sup> 未満	m3	1,100				(概)
土砂等運搬 (33街区仮置表土) (33街区→26街区)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,140				(概) 運搬距離0.3km以下, DID区間無し
畦畔築立	畦畔築立+畦畔法面仕上げ	m	217				(概) 土地改良事業歩掛, 畦畔復旧工
耕地復旧(耕起)		m2	3,800				(概) 土地改良事業歩掛, 耕地復旧(耕起)
路体(築堤)盛土 (宅地相当) (工事間流用土,区13掘削土)	施工幅員:4.0m以上	m3	7,200				(概) 施工数量:20,000m <sup>3</sup> 以上,障害:無し
路体(築堤)盛土 (進入路) (工事間流用土)	施工幅員:4.0m以上	m3	10				(概) 施工数量:20,000m <sup>3</sup> 以上,障害:無し
盛土工 【27街区】		式	1				
整地 (表土)	作業区分:敷均し(ルース)	m3	1,400				(概) 障害:無し
積込(ルース) (33街区仮置表土)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m <sup>3</sup> 未満	m3	1,400				(概)

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
土砂等運搬 (33街区仮置表土) (33街区→27街区)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,400				(概) 運搬距離0.3km以下, DID区間無し
畦畔築立	畦畔築立+畦畔法面仕上げ	m	279				(概) 土地改良事業歩掛, 畦畔復旧工
耕地復旧(耕起)		m2	4,680				(概) 土地改良事業歩掛, 耕地復旧(耕起)
路体(築堤)盛土 (宅地相当) (27街区仮置土)	施工幅員:4.0m以上	m3	2,500				(概) 施工数量:20,000m <sup>3</sup> 以上,障害:無し
路体(築堤)盛土 (進入路) (27街区仮置土)	施工幅員:4.0m以上	m3	20				(概) 施工数量:20,000m <sup>3</sup> 以上,障害:無し
盛土工 【32街区】		式	1				
路体(築堤)盛土 (宅地相当) (流用土)	施工幅員:4.0m以上	m3	5,900				(概) 施工数量:20,000m <sup>3</sup> 以上,障害:無し
積込(ルース) (33街区仮置流用土)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m <sup>3</sup> 未満	m3	6,600				(概)
土砂等運搬 (33街区仮置流用土) (33街区→32街区)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	6,600				(概) 不整地運搬車,運 搬距離:80m以下
盛土工 【22街区】		式	1				
整地 (表土)	作業区分:敷均し(ルース)	m3	160				(概) 障害:無し
積込(ルース) (33街区仮置表土)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m <sup>3</sup> 未満	m3	160				(概)
土砂等運搬 (33街区仮置表土) (33街区→22街区)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	160				(概) 運搬距離0.5km以下, DID区間無し

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
畦畔築立	畦畔築立+畦畔法面仕上げ	m	69				(概) 土地改良事業歩掛, 畦畔復旧工
耕地復旧(耕起)		m2	520				(概) 土地改良事業歩掛, 耕地復旧(耕起)
路体(築堤)盛土 (宅地相当) (工事間流用土)	施工幅員:4.0m以上	m3	530				(概) 施工数量:20,000m 3以上,障害:無し
路体(築堤)盛土 (進入路) (工事間流用土)	施工幅員:4.0m以上	m3	4				(概) 施工数量:20,000m 3以上,障害:無し
盛土工 【区13裏水路】		式	1				
路体(築堤)盛土 (宅地相当) (27街区仮置土)	施工幅員:4.0m以上	m3	690				(概) 施工数量:20,000m 3以上,障害:無し
路体(築堤)盛土 (再生砕石(RC-40)) (現場内流用)	施工幅員:4.0m以上	m3	80				(概) 施工数量:20,000m 3以上,障害:無し
積込(ルース) (27街区仮置土)	土質:土砂,作業内容:土量50,000m3未満	m3	760				(概)
土砂等運搬 (27街区仮置土) (27街区→区13裏水路)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	760				(概) 運搬距離0.3km以 下,DID区間無し
地盤改良工		式	1				
安定処理工【水路跡】		式	1				
安定処理 (改良厚:1.6m)	混合深さ:1mを超え2m以下,固化材100m2あたり使用量:21t/100m2,固化材の種類:環境負荷低減型固化材	m2	690				バックホ,構造物基礎
安定処理 (改良厚:1.2m)	混合深さ:1mを超え2m以下,固化材100m2あたり使用量:15.6t/100m2,固化材の種類:環境負荷低減型固化材	m2	590				バックホ,構造物基礎

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
安定処理工 (自走式土質改良工)		式	1				
自走式土質改良機設置・撤去工 (32街区土砂改良ヤト)	設置・撤去	台・回	1				
土質改良 (32街区土砂改良ヤト) (1～3号水路床掘土等)	改良土質:粘性土, 固化材1m3当り使用量:131kg/m3 , 固化材の種類:環境負荷低減型固化材	m3	2,500				安定処理工(自走式土質改良工)
排水構造物工		式	1				
管渠工 【区画道路13号線】		式	1				
開口部閉塞工		箇所	1				(概)
暗渠排水管 (VP管φ300)		m	8				(概)
舗装工		式	1				
アスファルト舗装工		式	1				
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クッション RC-30, 仕上り厚:150mm	m2	667				
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生粒度調整砕石 RM-30, 仕上り厚:100mm	m2	667				
表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	m2	667				
構造物撤去工		式	1				

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
構造物取壊し工		式	1				
コンクリート構造物取壊し	構造物区分:無筋構造物,工法区分:機械施工	m3	118				低騒音・低振動対策不要
コンクリート構造物取壊し	構造物区分:鉄筋構造物,工法区分:機械施工	m3	31				低騒音・低振動対策不要
舗装版切断	舗装版種別:コンクリート舗装版,コンクリート舗装版厚:15cmを超え30cm以下	m	11				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	26				
舗装版破砕	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:5cm	m2	1,400				障害無し,騒音振動対策不要,積込
掘削 (再生砕石(路盤材))	土砂,オープンカット,押土無し,障害無し,施工数量5000m3未満	m3	270				
土砂等運搬 (再生砕石(路盤材)) (22街区→33街区へ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	270				(概) 運搬距離0.5km以下,DID区間無し
暗渠排水管撤去 (VPφ100)	床掘り・埋戻しを含む	m	379				(概) 床掘り・埋戻し: 上記以外(小規模)
暗渠排水管撤去 (VUφ200)	床掘り・埋戻しを含む	m	41				(概) 床掘り・埋戻し: 上記以外(小規模)
暗渠排水管撤去 (高密度ポリエチレン管φ600)	床掘り・埋戻しを含む	m	24				(概) 床掘り・埋戻し: 上記以外(小規模)
大型土のう撤去		袋	50				(概) 作業半径:6m以下, 接地面-3~2m
転落防止柵撤去	コンクリート建込,門型,支柱間隔2m,時間的制約無し,夜間作業無し	m	10				(概)

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
伐採・除草工		式	1				
支障木伐採・除根 (高所作業車有り) (26街区)		m2	809				(概)
支障木伐採・除根 (高所作業車無し) (32街区)		m2	3,522				(概)
除草(機械除草Ⅰ)	除草, 集草, 積込, 運搬(敷地内)	m2	29,200				公園除草工 総合 歩掛を適用
運搬処理工		式	1				
殻運搬 (L=20.7km)	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	118				(概)
殻運搬 (L=22.8km)	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	m3	31				(概)
殻運搬 (L=3.2km)	殻種別:アスファルト殻	m3	70				(概)
木くず積込 (枝葉, 幹, 根)	積込:機械積込	t	50				(概)
木くず運搬 (枝葉, 幹, 根) (L=3.1km)	積込区分:機械積込, DID区間の有無:有	t	50				(概)
刈草運搬 (L=3.7km)	2tトラックによる運搬	台	60				(概) 公園除草工 公園 外への運搬を適用
廃プラスチック積込・運搬	人力積込	kg	2,174				(概) 5km未満
現場発生品運搬 (L=0.6km)	発生材種類:スクラップ	t	1.13				(概)

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	118				
殻処分	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	m3	31				
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	70				
伐採木処分	枝葉	t	19				
伐採木処分	幹	t	13				
伐採木処分	根	t	18				
刈草処分		t	59				
廃棄物処分	廃プラスチック類(VP管)	kg	2,100				
廃棄物処分	廃プラスチック類(土のう)	kg	74				
スクラップ 控除	へビ <sup>®</sup> -H3	t	-1.13				
仮設工		式	1				
工事用道路工		式	1				
工事用道路設置	RC-40, t=200mm	m2	1,180				(概) 下層路盤(車道・ 路肩部)を準用

# 設計内訳書 (整地工事)

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
工用用道路設置・撤去	設置:RC-40, t=200mm, 撤去:掘削(土砂, オープンカット, 押土無し, 障害無し, 5,000m3未満)	m2	594				(概) 下層路盤(車道・路肩部)を準用
既設工事用道路撤去	掘削(土砂, オープンカット, 押土無し, 障害無し, 5,000m3未満)	m2	2,100				(概) 掘削を準用
土砂等運搬 (RC-40) (33街区仮置場へ運搬)	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	410				(概) 運搬距離0.5km以下, DID区間無し
敷鉄板 (25街区) (賃料含む)(参考数量)	鋼材規格:22×1,524×6,096(mm), 作業区分:設置・撤去	m2	28				(概) 供用日数:120日
敷鉄板 (区13号) (賃料含む)(参考数量)	鋼材規格:22×1,524×6,096(mm), 作業区分:設置・撤去	m2	56				(概) 供用日数:60日
敷鉄板 (区12号) (賃料含む)(参考数量)	鋼材規格:22×1,524×6,096(mm), 作業区分:設置・撤去	m2	56				(概) 供用日数:60日
敷鉄板 (27街区) (賃料含む)(参考数量)	鋼材規格:22×1,524×6,096(mm), 作業区分:設置・撤去	m2	28				(概) 供用日数:180日
敷鉄板 (32街区) (賃料含む)(参考数量)	鋼材規格:22×1,524×6,096(mm), 作業区分:設置・撤去	m2	47				(概) 供用日数:60日
水替工 (参考数量)		式	1				
ポンプ設置・撤去		箇所	2				(概)
ポンプ排水	排水量:0以上120(m3/h)未満, 全揚程:10m, 排水方法:作業時排水	日	30				(概)
仮水路工		式	1				
仮設水路埋戻	埋戻し:最大埋戻幅1m以上4m未満	m	91				(概)

# 設計内訳書（整地工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)	事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備				
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
仮設暗渠排水管撤去	床掘り・埋戻しを含む	m	8				(概)
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	100				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の90.1%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
運搬費		式	1				
仮設材運搬費 (片道運搬距離:12.9km) 運搬・積込・取卸往復分		t	37				
技術管理費		式	1				

# 設計内訳書（整地工事）

工事名	(総合評価) 伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事 (その2)				事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 基盤整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
土質・原位置試験		式	1				内 3号 管理費区分9, 諸経 費を含む
土壌分析 (六価カド溶出試験)		箇所	3				管理費区分9
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費 (率計上)		式	1				
共通仮設費 (率計上)		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

# 一式当り内訳書

単価使用年月	2026.03
歩掛適用年月	2026.03
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	土質試験費							
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
室内CBR用試料採取		試料	2					
締固めた土のCBR試験		試料	2					
諸経費		式	1					
合計								

# 一式当り内訳書

単価使用年月	2026.03
歩掛適用年月	2026.03
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	原位置試験							
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
地盤の平板載荷試験(50kN以内)		箇所	2					
スクリューウェイト貫入試験		m	20					
諸経費		式	1					
合計								

# 一式当り内訳書

単価使用年月	2026.03
歩掛適用年月	2026.03
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	土質・原位置試験						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
地盤の平板載荷試験(50kN以内)		箇所	8				
スクリューウェイト貫入試験		m	24				
締固めた土のコーン試験		試料	4				
諸雑費		式	1				
合計							

## 特記仕様書（個別工事編）

工事名 （総合評価）伏見西部第五地区 区画道路5号線他築造工事（その2）

工事場所 京都市伏見区横大路六反畑他地内

### 1 一般事項

#### 第1-1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和7年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和7年8月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

#### 第1-2条受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」）であり、「京都市建設局週休2日工事实施要領」  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評価の審査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

#### 第1-3条（「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評価の審査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第1-4条（前払金）

- 1 前払金は、本内訳の請負代金の40%以内とし、中間前払金は同様に20%以内とする。
- 2 前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照 (<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>)

- 3 各会計年度における請負代金の支払限度額及び出来高予定額の割合は、概ね次のとおりとする。

設計内訳書（道路工事）

支払限度額の割合

令和8年度 66.6%

令和9年度 33.4%

出来高予定額の割合

令和8年度 74.0%

令和9年度 26.0%

設計内訳書（水路工事）

支払限度額の割合

令和8年度 57.0%

令和9年度 43.0%

出来高予定額の割合

令和8年度 63.4%

令和9年度 36.6%

設計内訳書（整地工事）

支払限度額の割合

令和8年度 41.8%

令和9年度 58.2%

出来高予定額の割合

令和8年度 46.5%

令和9年度 53.5%

※ 各会計年度の請負代金の支払限度額及び出来高予定額は、契約書作成時に通知する。

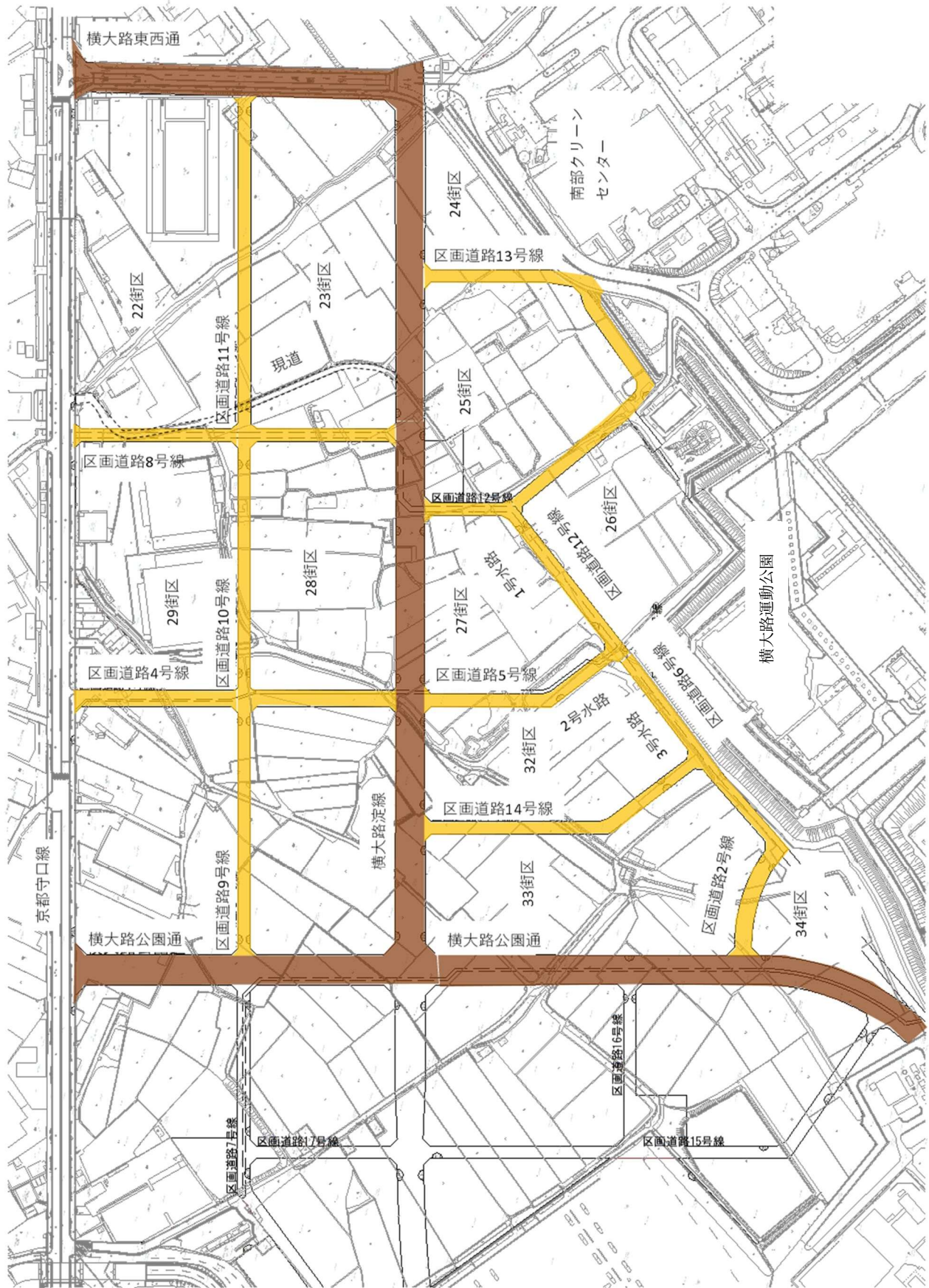
- 4 前払金の条件は次のとおりとする。

各会計年度の出来高予定額に対する前払金を支払う。

第1-5条（路線名・場所名）

各資料上の 路線名・場所名		備考
	略称	
京都守口線	京守	
横大路公園通	公園通	
横大路淀線	横淀	

横大路東西通	東西通	
区画道路2号線	区2	
区画道路4号線	区4	
区画道路5号線	区5	
区画道路6号線	区6	
区画道路8号線	区8	
区画道路9号線	区9	
区画道路10号線	区10	
区画道路11号線	区11	
区画道路12号線	区12	
区画道路13号線	区13	
区画道路14号線	区14	
1号水路		区画道路12号線道路下の水路
2号水路		区画道路5号線道路下の水路及び道路内の開水路
3号水路		区画道路6号線道路下の水路
22街区		区画道路8号線、区画道路11号線、京都守口線、横大路東西通に囲まれた街区
23街区		区画道路8号線、区画道路11号線、横大路淀線、横大路東西通に囲まれた街区
24街区		区画道路13号線、横大路淀線、南部クリーンセンターに囲まれた街区
25街区		区画道路12号線、区画道路13号線、横大路淀線に囲まれた街区
26街区		区画道路12号線、区画道路13号線、横大路運動公園に囲まれた街区
27街区		区画道路5号線、区画道路12号線、横大路淀線に囲まれた街区
28街区		区画道路4号線、区画道路10号線、区画道路8号線、横大路淀線に囲まれた街区
29街区		区画道路4号線、区画道路10号線、区画道路8号線、京都守口線に囲まれた街区
32街区		区画道路14号線、区画道路5号線、区画道路6号線、横大路淀線に囲まれた街区
33街区		区画道路14号線、区画道路6号線、区画道路2号線、横大路淀線、横大路公園通に囲まれた街区
34街区		区画道路2号線、横大路公園通に囲まれた街区



## 2 現場条件に関する事項

### 第2-1条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

- 1 工事に先立ち現地調査を行い、本工事内容を正確に把握すること。その上で、設計図書の照査を行い、施工計画書等を作成した上で、事前に監督職員に提出すること。
- 2 施工箇所の確認のため、事前に監督職員と現場立会いを行うこと。また、立会い時に確認した内容については工事打合簿で提出すること。
- 3 揚重機などの作業においては、地耐力の確認を行い、安全を確認したうえで、設置の計画を立てること。地盤の改良等が必要とされた場合は、監督職員と協議すること。
- 4 隣接する地元関係者(官公庁等も含む)との協議、施工区域、日時等に関する事項については、請負者独自で判断せず、必ず監督職員に報告し確認を受けること。また、地域住民等からの苦情・要望等に対しては、速やかに監督職員に連絡し、その指示に従うこと。
- 5 工事用車両の通行は、幹線道路を使用することを原則とし、生活道路や細街路を抜け道として使用しないこと。また、住宅地付近を走行する際は、騒音、振動を最小限にするよう最徐行を徹底すること。
- 6 本工事施工期間中、現場代理人は、昼夜を問わず常時連絡が取れる体制を取ること。また、監督職員との連絡は密にとり、疑義が生じた場合は監督職員と十分な打合せを行い、遺漏のないよう努めること。
- 7 請負契約締結後直ちに監督職員に連絡し着工日の指示を受けるとともに、着工までに施工計画をたてて監督職員の承認を受けること。
- 8 請負者は、本工事の実施に先立ち、監督職員と協議のうえ速やかに工事ビラ「〇〇工事のお知らせ」を作成し、工事打合せ簿で提出する。また、工事着手の1週間前までに工事箇所の周辺住民に周知すること。
- 9 官公庁の休日に作業を行う場合は、事前にその理由を打合簿により監督職員に提出すること。
- 10 着工以後は週間工程表を前週の木曜日17時までに監督職員へ提出すること。なお、工程表の様式については、監督職員と協議して決定すること。メールによるデータ送信も可とする。
- 11 本工事の施工に伴い、占用企業者等との調整が必要になった場合は、緊密な協議を行い円滑な工事進捗を図ること。
- 12 本工事作業中及び作業終了後は工事現場に関する点検を行い、異常がある場合には直ちに監督職員に連絡するとともに速やかに応急措置を行うこと。また、雨天、積雪時等についても異常がないか巡回・点検を行い安全確保に努めること。
- 13 施工中に工事関係者が社会規範を逸脱する行為を起ささないよう、「請負者が従事している工事は公共事業であり、社会規範を逸脱する行為を行わないこと。」を本工事従事者全員に周知徹底すること。
- 14 本工事において、民有および官有の施設物件を破損した場合は、請負人の責任において現状に復旧すること。
- 15 本特記仕様書等に反して工事を施工した場合、改善またはやりなおしを命ずるが、そのときは、速やかにその指示に従うこと。
- 16 当該箇所の周辺は農耕地であり近傍に建物などの遮るものがないため、施工時の粉塵等には

十分注意するとともに、必要に応じて散水等の対策を講じること。

17 建設副産物の搬出にあたっては、その種類・日時・経路・交通誘導警備員の配置計画を予め監督職員と協議すること。

18 本工事は日本中央競馬会の寄付金を財源として施工するため、「この工事は、日本中央競馬会の寄付金を財源として施工しております。」という文面を工事標示板下端に記載すること。

なお、工事標示板は、第三者からよく見える位置に設置し、設置状況のわかる写真を撮ること。

19 本工事が各種調査、監査、検査の対象工事となった場合、受注者は関係書類を発注者に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

20 本工事の工事場所に近接する関連工事については以下のとおりであるため、緊密な連絡調整を行うこと。

なお、他企業者の近接工事については別途通知するので、調整を行うこと。

工 事 名	時 期 (予 定)	発注者
(総合評価)伏見西部第五地区 区画道路 11 号線他築造工事	(施工中) 令和 9 年 3 月まで	京都市建設局 都市整備部
伏見西部第五地区土地区画整理事業に伴う 埋蔵文化財発掘調査業務委託 (その 5)	(予定) 令和 9 年 3 月まで	南部区画整理事務所
伏見西部第五地区 1 号水路他整備工事(その 2)	(施工中) 令和 9 年 2 月まで	
(総合評価)伏見西部第五地区 区画道路 12 号線他築造工事	(施工中) 令和 8 年 9 月まで	
(総合評価)伏見西部第五地区 区画道路 2 号線・横大路公園通他築造工事	(施工中) 令和 9 年 3 月まで	
(総合評価)伏見西部第五地区 3 号水路整備工事	(予定) 令和 8 年 10 月から 令和 10 年 3 月まで	

21 区画道路 13 号線では、令和 9 年 3 月末まで、埋蔵文化財調査の現地工事を行う予定である。そのため、工事着手にあたり、埋蔵文化財調査施工業者と工事スケジュール、施工時期、安全対策方法等について十分に調整を行うこととする。

22 プレキャストボックスの製作にあたっては、事前に取付管の位置等を現場で確認し、点検人孔及び横穴の位置について監督職員の承諾を得たうえで製作を開始すること。

23 プレキャストボックスを埋め戻す際、開口部から土砂が流入しないよう対策を施すこと。

24 プレキャストマンホールの施工歩掛については、下水道用設計標準歩掛「ブロック据付工」、「蓋(受枠とも)及び調整コンクリートブロック据付工」を使用している。

25 プレキャストボックスの施工歩掛の製品長は、一連のボックスカルバートの標準的な 1 部材の有効長(1、3号水路では 1.5m/個、2号水路では 2.0m/個)として、全延長の費用算出している。

26 自由勾配側溝の施工に当たり、事前に監督員立会いの下、現地確認を行ったうえで、割付の承認図を提出することとする。側溝や蓋について、現場打ち対応等が必要な箇所が生じた場合は、監督員と協議する。なお、設計変更の対象とする。

27 安定処理施工に当たり、施工前に監督員立会のもと、試掘を行い、改良範囲・改良幅・混合深

さの確認を実施すること。また、試験を実施し、添加量を決めることとする。確認及び試験の結果、変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。

28 1号、2号、3号水路の施工に当たり、施工前に監督職員立会いのもと、試掘を行い、置換工の施工厚さの確認及び地耐力の確認を実施すること。確認の結果、変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。

29 掘削や床掘りによって生じた土砂は、過年度工事等の結果から、埋戻し等に使用できないことを想定し、仮置き場所を指定している。埋戻し等が可能な場合は、監督員と協議すること。

30 除草の設計数量については、調査時点の草の繁茂状況に基づき決定している。着手前に草の繁茂状況について調査を行い、監督職員と協議すること。調査の結果、変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。

31 その他については、監督職員の指示に従うこと。

#### 第2-2条（事前準備）

1 受注者は、工事着手前に発注者が確保している工事用地等について、監督職員の立会のうえ用地境界、使用条件等の確認を行うとともに、施工範囲の外周境界を旗等により表示し、監督職員の確認を受けなければならない。なお、工事施工上、既設及び新設の境界杭が支障となり紛失等の恐れがある場合については、控杭を設置しなければならない。

2 受注者は、本工事の施工に先立ち、施工区域外からの水の流入を防ぐとともに、施工時にはなるべく乾燥した状態を目標に施工するものとする。

#### 第2-3条（施工時間）

施工は昼間とし、標準的な作業時間帯は、8時～17時（休憩時間を含む）とし、時間外作業が想定される場合は事前に監督職員の承認を受け、影響のある周辺住民等へ周知すること。

関係機関との協議結果により施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

#### 第2-4条（工程）

1 第3-9条（既済部分検査等）の時期に間に合うように、複数班体制による同時並行作業について、検討のうえ、工事工程を計画することとする。

#### 第2-5条（交通誘導警備員）

1 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員の有無
施工箇所等	約 1~2 名	交通誘導警備員B 1~2 名	昼間	無

※交通誘導員の配置は、土砂・廃棄物の運搬やボックスカルバート等の搬入、舗装工の際に限る。

第2-6条（使用材料等）

- 1 安定処理等に用いる材料は、下表のとおりである。使用する固化材料や安定処理に係る添加量については、施工前に配合試験を行い、監督職員と協議すること。固化材の種類や添加量の変更については、監督職員との協議を踏まえ、必要に応じて設計変更の対象とする。

六価クロム溶出量試験については、第3-7条による。

種別・細別	材料	添加量	備考（条件等）
安定処理工【水路跡】 安定処理	環境負荷低減型 固化材 （高含水有機質土用） フレコン 1 t パック	131kg/m <sup>3</sup>	H=1.6m (qc=400kN/m <sup>2</sup> 以上)
安定処理工【水路跡】 安定処理	環境負荷低減型 固化材 （高含水有機質土用） フレコン 1 t パック	130kg/m <sup>3</sup>	H=1.2m (qc=400kN/m <sup>2</sup> 以上)
安定処理工 (自走式土質改良工) 土質改良	環境負荷低減型 固化材 （高含水有機質土用） フレコン 1 t パック	131kg/m <sup>3</sup>	qc=400kN/m <sup>2</sup> 以上

### 3 監督職員の確認に関する事項

#### 第3-1条（現場中間検査）

- 1 本工事は、現場中間検査の対象工事とし、実施回数は1回以上とする。
- 2 検査の対象工種及び実施時期は、完成、既済の検査時期及び当該工事の主要工種並びに施工上の重要な変化点である段階確認の実施時期等を考慮し、監督職員と協議のうえ、定めるものとする。
- 3 現場中間検査の検査日時等については、受注者の意見を聞いて監督職員が通知するものとする。
- 4 現場中間検査に要する費用は受注者の負担とする。

#### 第3-2条（工場等派遣中間検査）

- 1 次表の資材・製品について、工場等派遣中間検査を行うものとする。

資材・製品
プレキャストボックス（1500×1500×2000）標準

- 2 当検査に要する費用は受注者の負担とする。ただし、監督の派遣に要する費用は除くものとする。
- 3 当検査は、検査対象の資材・製品を現場に搬入する前に行うものとする。
- 4 当検査の検査項目は、監督職員と協議のうえ、定めるものとする。

#### 第3-3条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材 料・製 品	備 考
プレキャストコンクリート製品 （JIS I類、JIS II類含む）	「品質管理基準及び規格値」 （区分・項目・方法・頻度）
アスファルト合材 （排水性舗装、透水性舗装、プラント再生舗装含む）	「品質管理基準及び規格値」 （区分・項目・方法・頻度）

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品  
 (「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外)

工種・種別等	細 別	材料・資材・製品
地盤改良工 路床安定処理工	安定処理	固化材
地盤改良工 置換工	置換	置換材料
カルバート工 プレキャストカルバート工	プレキャストボックス	プレキャストボックス
排水構造物工 集水桝・マンホール工	プレキャストマンホール	マンホール材料
排水構造物工 側溝工	自由勾配側溝	自由勾配側溝
排水構造物工 管渠工	鉄筋コンクリート台付管	重圧管

第3-4条 (受注者の臨場)

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者(又は監理技術者、或いは監理技術者補佐)又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第3-5条 (段階確認)

受注者は、共通仕様書(3-1-1-4)の「表3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録(出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等)と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

「共通仕様書(3-1-1-4)の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認

工種-種別等	細 別	確 認 時 期
道路土工(掘削工)		土(岩)質の変化した時
道路土工(路床盛土工) 舗装工(下層路盤)		プルーフローリング実施時
安定処理工	安定処理	処理完了時
置換工	置換	掘削完了時

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）  
 （「共通仕様書（3-1-1-4）」の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外）

工種-種別等	細 別	確 認 項 目
地盤改良工	安定処理	改良厚 固化材混合状況
地盤改良工	土質改良	固化材混合状況
地盤改良工 置換工	置換	置換範囲
カルバート工 プレキャストカルバート工	プレキャストボックス	基準高(水路底) PC鋼より線 締め付力(目地幅)
排水構造物工 側溝工	自由勾配側溝	基準高（水路底）
排水構造物工 管渠工	鉄筋コンクリート台付管	基準高（水路底）

### 第3-6条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
工事範囲の境界確認	本工事施工範囲は区画整理に伴う換地の境界線と一部一致することから、測量業務委託において設置する予定の各地点との整合性を、現地で監督職員と立会い、工事範囲について確認すること。
企業者の地下埋設物確認	工事によって企業者等の地下埋設物に悪影響が出ないようにするため、受注者が企業者及び監督職員と立会し、地下埋設物の位置、深さ及び幅等について確認をする。確認方法は、試掘又は各種探知機による。
保安施設設置状況	工事による事故防止のため、監督職員と立会確認をする（ただし、立会確認書は必要としない。）。

### 第3-7条（六価クロム溶出試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験」の対象工事であり、土壤環境基準（検液1ℓにつき0.05mg以下であること）への適合を確認するため、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づく試験を実施し、試験結果を提出すること。

試験方法は、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（<https://www.mlit.go.jp/tec/content/001725946.pdf> に掲載）の試験方法1による。

また、土質条件等により試験方法及び検体数等に変更が生じた場合は、監督職員と協議して対応するものとし、設計変更の対象とする。

六価クロム溶出試験対象及び検体数については下表のとおりとする。

種別・細別	試験実施時期	検体数
安定処理工	配合設計段階	3 検体

### 第 3 - 8 条 (品質管理試験)

本工事の施工に伴う品質管理試験のうち、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載がない試験項目等については、次表のとおりとする。

#### 【設計内訳書(道路工事)】

細別	品目・規格等	試験項目	規格値、頻度等	備考
土質試験費	流用土等材料試験	締固めた土の CBR 試験	規格値：設計 CBR6%以上 2 試料 (室内 CBR 用試料採取も含む)	実施個所については別途指示する。

#### 【設計内訳書(水路工事)】

細別	品目・規格等	試験項目	規格値、頻度等	備考
原位置試験	施工基面地耐力測定	地盤の平板載荷試験 (50kN 以内)	規格値：設計長期地耐力 1、3 号水路：50kN/m <sup>2</sup> 以上 2 号水路：65 kN/m <sup>2</sup> 以上 U 型水路：25 kN/m <sup>2</sup> 以上 1~3 号水路取り合い部 1 箇所、U 型水路部 1 箇所	実施個所については別途指示する。
原位置試験	地盤調査	スクェット貫入試験	規格値：別途指示する 20m(4 箇所×5m)	実施個所については別途指示する。

#### 【設計内訳書(整地工事)】

細別	品目・規格等	試験項目	規格値、頻度等	備考
土質・原位置試験	地盤調査	地盤の平板載荷試験 (50kN 以内)	規格値：別途指示する。 8 箇所	実施個所については別途指示する。
土質・原位置試験	地盤調査	スクェット貫入試験	規格値：別途指示する 24m(8 箇所×3m)	実施個所については別途指示する。
土質・原位置試験	地盤調査	締固めた土のコン指数試験	規格値：別途指示する 4 試料	実施個所については別途指示する。

第3-9条（既済部分検査等）

本工事における契約書第41条（部分引渡し）に定める「指定部分」は以下のとおりとする。

指定部分	引渡日
設計内訳書(道路工事)のうち、区5、12号の表層以外の部分 設計内訳書(水路工事)のうち、1、3号水路にかかる部分と2号水路の一部	令和9年3月15日

#### 4 建設副産物に関する事項

##### 第4-1条 (建設発生土の利用)

本工事に使用する盛土・埋戻材については、以下の建設発生土を使用するものとする。

土砂	流用先	備考
33 街区仮置土	区画道路 12 号線 路体(築堤)盛土 区画道路 12 号線 路床盛土 区画道路 5 号線 路体(築堤)盛土 区画道路 5 号線 路床盛土 区画道路 13 号線 路床盛土	運搬距離：0.3 km以下 (DID 区間無し)
	1 号水路 埋戻土砂 2 号水路 埋戻土砂 3 号水路 埋戻土砂	
	25 街区 表土 26 街区 表土 27 街区 表土	
	32 街区 路体(築堤)盛土	設計運搬距離 80m 以下(不整地運搬 車による運搬)
	22 街区 表土	運搬距離：0.5 km以下 (DID 区間無し)
	27 街区仮置土	区 13 号裏水路 路体(築堤)盛土

本工事に使用する盛土・埋戻材については、本工事の掘削土を流用するほか、原則工事間流用による建設発生土を使用するものとする。

工事間流用土の運搬は、流用土を発生させた工事の受注者が行うので、施工に際しては運搬場所・時期等について、当該受注者と十分に調整を図るものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議のうえ、その指示によるものとし、設計変更の対象とする。

なお、建設発生土を使用する場合は、品質が適正なものであるか確認のうえ使用するものとする。

##### 第4-2条 (建設副産物の適正処理)

###### 1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」(最終改正平成23年4月1日)及び「京都市産業廃棄物不適正処理対策要綱」(最終改正平成16年4

月 1 日実施) を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のある A、B 2、D、E 票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
コンクリート塊 (無筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 京都府綴喜郡井手町大字井手小字久保 48-1	設計運搬距離 L = 20.7 km
コンクリート塊 (有筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 京都府綴喜郡宇治田原町大字禅定寺小字粽谷 37 番地	設計運搬距離 L = 22.8 km
アスファルト塊 (掘削)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 京都府京都市伏見区横大路松林 18-1	設計運搬距離 L = 3.2 km
建設発生木材 (枝葉・幹・根)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 京都府京都市伏見区横大路千両松町 保留地番号第 45-1-2 号地	設計運搬距離 L = 3.1 km
建設発生木材 (刈草)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 京都市伏見区表町 590 番 1	設計運搬距離 L = 3.7 km
廃プラスチック類 (VP 管)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 京都府京都市横大路天王寺前 87-11	設計運搬距離 L = 1.4 km
廃プラスチック類 (土のう袋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第 6 項の許可を受けた施設 京都府京都市横大路千両松町 33 番地	設計運搬距離 L = 1.8 km

2 舗装切断時に発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時に発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

3 建設発生土が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設発生土については、下記に示す受入場所へ搬出すること。また、搬出する際の運搬距離についても、下記の条件を準用すること。

発生場所	建設副産物	受入場所	備 考
区画道路 13号線 25街区 26街区 32街区	建設発生土 (表土)	33街区表土仮置場	設計運搬距離 0.3km以下((DID区間無し))
1号水路 2号水路 3号水路	建設発生土 (置換残土) (床掘土砂)	32街区土砂改良ヤード	設計運搬距離 50m以下(不整地運搬車による運搬)

#### 4 スクラップについて

本工事の施工により発生するスクラップは、下表の条件で積算している。

なお、搬出先は必要な許可を有するものとし、その証明書の写し（搬出先を変更したときのみ）と処分量を明記した証明書（受入確認書等）を監督職員に提出すること。

建設副産物	受入場所	備 考
スクラップ (ヘビーH3)	京都府京都市伏見区横大路畔ノ内46-3	設計運搬距離 L = 0.6km

#### 第4-3条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

(1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和7年6月1日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

#### 分別解体等の方法

工 程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設 仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工 土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等) 基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造 本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品 本体付属品の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

⑥その他( )	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
---------	--	--

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

(2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

## 5 その他事項

### 第5-1条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の45日前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の14日前までに提出すること。

### 第5-2条（受注者希望型におけるICT活用工事の試行）

1 本工事は、「京都市建設局ICT活用工事試行方針（案）」（令和6年2月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ICT活用工事試行要領（案）」（令和6年2月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いICT活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html>

2 試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ICT活用工事を試行できる。

3 受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はICT活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ICT施工技術を活用できる。

なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む3つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議にり選定できる。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

4 ICT活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更に必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要な見積書を提出すること。

5 「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①3次元起工測量の1プロセスのみの活用は除く。

### 第5-3条（情報共有システムの利用）

1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。システムを利用しない場合は、監督員から承諾を得るものとする。

システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和6年3月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。

2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。

3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。

4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要領」（以下「要領」という。）に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>

### 第5-4条（発注者指定型における遠隔臨場の実施）

本工事は遠隔臨場を行うものとする。

#### 1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い実施するものとする。

#### 2 実施内容

##### （1）「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

##### （2）効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

##### （3）費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

（4） 成績評定

遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

# 位置図

